

おはなしだより 11月

<年長>

ファイディーとおちば

作： ジュリア・ローリンソン

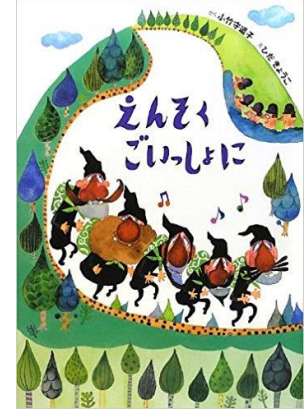
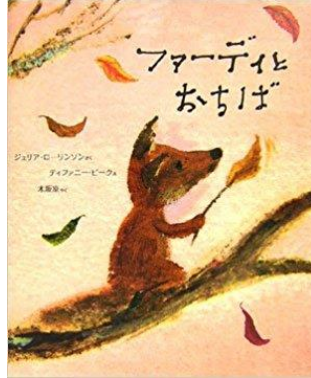
絵： ティファニー・ビーク

訳： 木坂 涼

出版社： 理論社

出版社： 岩波書店

ファーディのともだちはおおきなきです。ところがこのところきのげんきがありません。はっぱはどんどんちやいろくなり、かぜがふくとおちてしまいます。いったいどうしたのでしょうか。きせつのうつりかわりともだちをおもうきもちがかさなって…ちいさなちいさなあきのおはなし。



えんそくごいっしょに

作： 小竹守 道子

絵： ひだ きょうこ

出版社： アリス館

今日は、どろぼうたちの遠足です。

山を登っていると、向こうから刑事さんが。なんと、刑事さんたちも遠足です。

どろぼうたちは、木の中に隠れたりして、逃げようしますが、うまくいきません。

果たして、どろぼうたちは、うまく逃げ切れるでしょうか。

<年中>

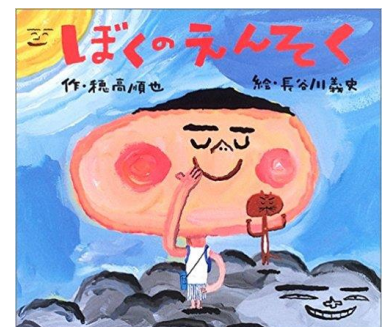
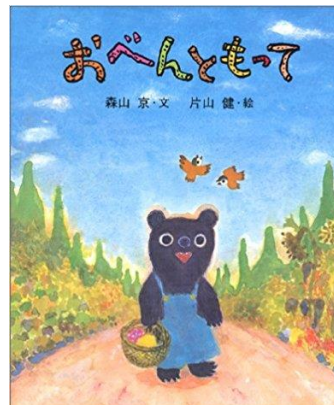
おべんともって

作： 森山 京

絵： 片山 健

出版社： 偕成社

くまのこがかごをさげてあるいていきます。ときどきかごのなかをのぞいてなんだかうれしそう。みちばたで、きつねのこにいました。「くまちゃん、なにもってるの。」「おべんと!」「おべんともって、どこいくの。」「おとうさんのとこ。」あきのひのちいさなできごとです。



ぼくのえんそく

作：穂高 順也
絵：長谷川 義史
出版社：岩崎書店

どうしても、えんそくにいきたいというきもちは、「にゅっ」とからだをぬけだした!さあ!!しゅっばつだ。かぜをひいてえんそくにいけないぼくと、えんそくにいきたいネコとジュースとあまぐものふしぎでたのしいえんそく。

<年少>

やさいのえんそく

おおさわぎ

作：さくら ともこ
絵：米山 永一
出版社：PHP 研究所

きょうは「えんそく」。たまねぎえんのこどもたちは、リュックをしょってやってきました。

みんなバスにのったかな? 「さあ、でかけよう」。そのときに…。「まって、まって、いかないで」。ねぼうしちゃったごぼうくんが、ぼーっとねぼけてやってきました。バスのなかでは、なすくんがすー、すー、ねています。だれかが、おべんとうをたべようとしています…。「まだです。ここでは、たべません。おやまのうえで、たべましょう」



きつねとタンバリン

作：安田 浩
絵：柿本 幸造
出版社：ひさかたチャイルド

あこちゃんが保育室でタンバリンをたたいていると、キツネがやってきていました。「おねがい、そのタンバリン、ちょっと貸して。」あんまりたのむので、あこちゃんは貸してあげることになった。その晩、担任のよしこ先生は、野原でタンバリンの音を聞きました。見るとキツネがうさぎたちに踊りを教えているのです。ウサギたちの踊りはタンバリンの音にあわせていつまでも楽しそうに続きました。そして、つぎの日……